学校番号	1016

令和８年度　地理歴史科

教科	地理歴史	科目	地理総合	単位数	２単位	年次	２年次
使用教科書	「高等学校　新地理総合」（帝国書院） 「新詳高等地図※令和４年度以降入学生用」（帝国書院）						
副教材等	自作プリント　等						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

私たちが暮らす日本社会は大きく変わろうとしており、その変化とうまく付き合っていかなければならない。それには異文化への理解や、新たな環境を受け入れる意識が必要であり、その際、多様な自然と人間の相互関係やそこから生まれた文化に注目する地理を学ぶ意義は大きい。一方、世界には環境問題や、エネルギー問題、人口問題、食料問題などさまざまな課題があり、これらの問題にも立ち向かわなければならないが、その前提となる数々の知識や見方・考え方も、自然と人間を科学する地理の学習から得られるであろう。地理を広く学び、平和で民主的な国家・社会を切り拓く総合力を培い、持続可能な社会づくりに向け、主体的に行動を起こすことのできる姿勢を育んでほしい。

2　学習の到達目標

【知識及び技能】
グローバル化や情報化、少子高齢化など、急激な社会の変化を地理的な視点でとらえながら、平和で民主的な国家及び社会を形成するために必要な資質・能力を身に付ける。
【思考力、判断力、表現力等】
現代世界における地理的認識を深めながら、地理的技能や地理的見方・考え方を身に付ける。
【学びに向かう力、人間性等】
主体的に社会の形成に参画する態度を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	現代世界の生活・文化の地域的特色、諸課題について理解するとともに，調査や諸資料から様々な情報を適切かつ効果的に調べまとめる技能を身に付けているか。	現代世界の地理的事象の意味や意義、特色や相互の関連を、概念などを活用して多面的・多角的に考察したり、地理的な課題の解決に向けて構想したり、考察・構想したことを効果的に説明したり、それらをもとに議論したりする力を身に付けているか。	現代世界の地理的諸事象について、国家及び社会の形成者として、よりよい社会の実現に向けて課題を主体的に解決しようとしているか。

上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期	第1章　地図と地理情報システム	1.地球上の位置と時差 2.地図の役割と種類	a:日常生活でみられる地図の読図などを基に、地図や地理情報システムの役割や有用性について理解している。 現代世界のさまざまな地理情報について、地図や地理情報システムなどを用いて、その情報を収集し、読み取り、まとめる基礎的・基本的な技能を身に付けている。 b:地図や地理情報システムについて、位置や範囲、縮尺などに着目して、目的や用途、内容、適切な活用の仕方などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:地図や地理情報システムについて、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
	第2章　結びつきを深める現代世界	1.現代世界の国家と領域 2.グローバル化する世界	a:現代世界の地域構成を示したさまざまな地図の読図などを基に、方位や時差、日本の位置や領域・領土、国内や国家間の結び付きについて理解している。 b:現代世界の地域構成について、位置や範囲などに着目して、主題を設定し、世界的視野から見た日本の位置や領域・領土、国内や国家間の結び付きなどを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:現代世界の地域構成について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り

後期	第1章 生活文化の多様性と国際理解	序.生活文化の多様性 1.世界の地形と人々の生活 2.世界の気候と人々の生活 追究.乾燥した大陸と太平洋の島々での生活-オセアニア- 追究.モンスーンの影響を受ける地域での生活-東南アジア- 3.世界の言語・宗教と人々の生活 追究.イスラームと人々の生活の関わり-中央アジア・西アジア・北アフリカ- 追究.ヒンドゥー教と人々の生活の関わり-インド- 4.歴史的背景と人々の生活 追究.移民の歴史と人々の生活の関わり-ラテンアメリカ- 追究.植民地支配の歴史と人々の生活の関わり-サハラ以南アフリカ- 追究.国家体制の変化と人々の生活の関わり-ロシア- 5.世界の産業と人々の生活 追究.産業力が世界の生活文化に充てる影響-アメリカ合衆国- 追究.経済成長による人々の生活の変化-東アジア- 追究.地域統合が人々の生活や産業に与える影響-ヨーロッパ-	a:世界の人々の特色ある生活文化を基に、人々の生活文化が地理的環境から影響を受けたり、影響を与えたりして多様性をもつことや、地理的環境の変化によって変容することなどについて理解している。 世界の人々の特色ある生活文化を基に、自他の文化を尊重し国際理解を図ることの重要性などについて理解している。 b:世界の人々の生活文化について、その生活文化がみられる場所の特徴や自然及び社会的条件との関わりなどに着目して、主題を設定し、多様性や変容の要因などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:生活文化の多様性と国際理解について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り

	第2章 地球的課題と国際協力	1.複雑に絡み合う地球的課題 2.地球環境問題 3.資源･エネルギー問題 4.人口問題 5.食料問題 6.都市･居住問題	a:世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の各地で共通する傾向性や課題相互の関連性などについて大観し理解している。 世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住・都市問題などを基に、地球的課題の解決には持続可能な社会の実現をめざした各国の取り組みや国際協力が必要であることなどについて理解している。 b:世界各地でみられる地球環境問題、資源・エネルギー問題、人口・食料問題及び居住･t ぽ氏問題などの地球的課題について、地域の結び付きや持続可能な社会づくりなどに着目して、主題を設定し、現状や要因、解決の方向性などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:地球的課題と国際協力について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り

	第1章 自然環境と防災	1.日本の自然環境 2.地震・津波と防災 3.火山災害と防災 4.気象災害と防災 5.自然災害への備え	a:我が国をはじめ世界でみられる自然災害や生徒の生活圏でみられる自然災害を基に、地域の自然環境の特色と自然災害への備えや対応との関りとともに、自然災害の規模や頻度、地域性を踏まえた備えや対応の重要性などについて理解している。 さまざまな自然災害に対応したハザードマップや新旧地形図をはじめとする各種の地理情報について、その情報を収集し、読み取り、まとめる地理的技能を身に付けている。 b:地域性を踏まえた防災について、自然及び社会的条件との関わり、地域の共通点や差異、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、自然災害への備えや対応などを多面的・多角的に考察し、表現している。 c:自然環境と防災について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り
	第2章 生活圏の調査と地域の展望	1.生活圏の調査と地域の展望	a:生活圏の調査を基に、地理的な課題の解決に向けた取り組みや探究する手法などについて理解している。 b:生活圏の地理的な課題について、生活圏内や生活県外との結び付き、地域の成り立ちや変容、持続可能な地域づくりなどに着目して、主題を設定し、課題解決に求められる取り組みなどを多面的・多角的に考察、構想し、表現している。 c:生活圏の調査と地域の展望について、よりよい社会の実現を視野にそこでみられる課題を主体的に追究、解決しようとしている。	定期考査 小テスト ワークシート	定期考査 ワークシート 学習の振り返り	ワークシート 学習の振り返り

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度